

【平成 28 年 6 月 11 日】「平成 28 年度土木学会関西支部年次学術講演会」のご報告

平成 28 年度 土木学会関西支部年次学術講演会にて当センター職員が下記研究発表を行いましたのでご報告いたします。

[日時] 平成 28 年 6 月 11 日 (土)

[会場] 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

[研究テーマ]

人口減少社会における大阪湾流域圏からの汚濁負荷量の推計

[研究者]

○吉村 美穂(現：一般財団法人関西環境管理技術センター所属)
重松 孝昌(大阪市立大学)

[研究概要]

大阪湾等の内湾は、総量削減規制等の富栄養化対策により T-N や T-P が減少し、播磨灘など一部の海域では貧栄養化が問題となっている。今後、人口減少が進行し、陸域から流入する栄養塩類は更なる減少が見込まれる。内湾の水質改善対策立案において陸域から流入する負荷量を把握する必要がある。本研究では、人口減少が流入負荷量に与える影響を明らかにした。

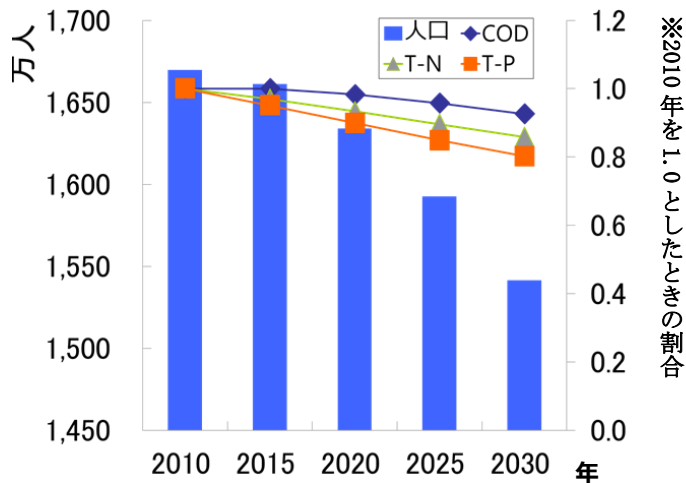


Figure 1 大阪湾流域における汚濁負荷量の推計

[本件に関するお問い合わせ先]

一般財団法人関西環境管理技術センター 企画管理部企画推進課

TEL (06)6583-3262